

【様式】 第 2 号の 1 ～ 4 - ②

専門学校

(注) 様式第 2 号の 1 - ②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1 - ①を用いること。

(注) 様式第 2 号の 2 - ②

※様式第 2 号の 2 - ①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

(注) 様式第 2 号の 4 - ②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4 - ①を用いること。

(申請書を作成する際には、1 頁目を削除すること)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 深堀学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	国際 ICT・観光学科	夜・通信	12 単位	12 単位	
	グローバル ICT 学科	夜・通信	13 単位	6 単位	
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	夜・通信	14 単位	6 単位	
	ホテルブライダル観光学科	夜・通信	7 単位	6 単位	
	国際ビジネス学科	夜・通信	9 単位	4 単位	
文化教養専門課程	ビジネス日本語学科	夜・通信	7 単位	6 単位	
	英語ビジネス学科	夜・通信	9 単位	4 単位	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.cbc.ac.jp/introduction/> 内での公表
 * 「英語ビジネス学科」、「国際 ICT/観光学科」、{ビジネス日本語学科} については、事務室で閲覧可

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人深堀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>語学(英語科目)、専門科目(ICT、貿易・航空、ホテル・観光)、PC関連科目のそれぞれの専任教員によるミーティングを持ち、科目設定、テキスト選定、授業内容、授業運営について年度開始前に話し合いをして基本ラインを決めている。担当教員が担当する科目の特性を理解し、基本ラインに基づいて到達目標を定め、シラバスを作成する。</p> <p>成績評価方法については、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等のいずれか、もしくは組み合わせで評価点を出すこと授業開始時に各教員が定め、シラバスに記入をしている。</p> <p>シラバス作成時期：3月下旬、9月上旬 シラバス公表時期：4月中旬、9月下旬</p>	
授業計画書の公表方法	Google Classroom での配布
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学科・コースの担任が随時個人面談を行い、学習意欲の把握をし、アドバイスを行っている。担当教員が定めた評価方法に従い、それぞれの項目において評価点を出し、学期末に100点満点となるよう集計し、教務に提出をする。科目の評価はシステムで管理され、単位認定を行っている。60点未満の評価を受け、単位認定がされなかった場合は、課題レポートの再提出、再試験等のチャンスを与えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA 指標は下記になります。</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)]</p> <p>100-90 S 4.0 89-80 A 3.0 79-70 B 2.0 69-60 C 1.0 59 以下 不可</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 4) + (A \text{ 取得単位数} \times 3) + (B \text{ 取得単位数} \times 2) + (C \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p> <p>[ビジネス日本語学科]</p> <p>100-90 S 5.0 89-80 A 4.0 79-70 B 3.0 69-60 C 2.0 59 以下 D 1.0</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 5) + (A \text{ 取得単位数} \times 4) + (B \text{ 取得単位数} \times 3) + (C \text{ 取得単位数} \times 2) + (D \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)/ビジネス日本語学科]</p> <p>4年課程---124単位 2年課程---62単位 1年課程---31単位</p> <p>単位認定は、成績並びに出席状況を確認し行っている。半期ごとに学生ごとの単位取得状況を把握し、次学期又は次年度の履修指導を行い、卒業認定の際の単位不足などによる卒業不可の状況が起こらないように取り組んでいる。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人深堀学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
財産目録	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
事業報告書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
監事による監査報告（書）	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 学科ごとの別紙

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
年		単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
人		人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準

(概要)
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
国際 ICT・観光学科	新入生募集無	702,000 円	156,000 円	在籍基本料 施設維持費
グローバル ICT 学科 国際ビジネス学科 ホテルブライダル観光学科	130,000 円	864,000 円	156,000 円	在籍基本料 施設維持費
英語ビジネス学科 (現国際ビジネス学科夜)	50,000 円	672,000 円	96,000 円	在籍基本料 施設維持費
修学支援(任意記載事項)				
深堀学園奨学金、資格奨学金、商業教育推薦、定通教育推薦、指定校推薦				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 「(1)令和5年度学校自己評価報告書」
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) ・地域の国際交流拠点としての働きを持ち、学生・保護者・業界関係者などに自己評価の結果を提示して、客観的な評価やご意見を頂いています。 ・本評価を行うことで、学校関係者との関係を深め、更に連携やご協力を仰ぎきっかけとしております。 ・1年に1回、自己評価を元に学校関係者に意見を頂いております。 【評価項目】 基準1. 教育前提/基盤 基準2. 学校運営 基準3. 教育活動 基準4. 教育成果 基準5. 学生支援 基準6. 教育環境 基準7. 学生の募集と受け入れ 基準8. 財務 基準9. 法令等の順守 基準10. 社会貢献 基準11. 国際交流 基準12. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果基準 【評価委員の構成】 委員の定数: 8名 委員の選出区分: 企業等委員、高等学校 関係者、本校卒業生、地域関係者 【評価結果の活用方法】 委員会で評価を頂いた内容について、委員会終了後2か月を目途に指摘事項について会議を開催し、改善案などを学校長に報告する。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
"一般社団法人 神奈川県観光協会 会長	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	企業等委員
一般社団法人 川崎市観光協会 会 長"	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	高等学校
"全国高校定時制通信制教育振興会 副会長	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	関係者
神奈川県高校定時制通信制教育振興 会 会長"	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	企業等委員
"川崎商工会議所前会頭、名誉顧問	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	企業等委員
慶應義塾大学 評議員"	令和4年9月1日～令 和7年8月31日(3年)	本校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: http://www.cbc.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 貿易・航空ビジネス コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位(1860 時間) 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		62 人	19 人	13 人	26 年人	39 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) グローバルな現代社会において、日本国内で完結する仕事が減少し、海外と係らなければ業務が進まないという状況になってきています。このような状況下で企業より求められている、国際ビジネス業界で働くための、下記の知識・技能を習得させることを目的とし、授業の内容により講義、演習、実習の形式を取っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(貿易知識・実務、航空貨物取扱知識・技能、フォワーディング、マーケティング) 3. パソコン知識・技能 <p>前期、後期制を取っており、年間で目標とする知識・技能をバランスよく学べるよう2年間の授業計画を立てています。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布しています。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となっています。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行います。学生が自由に相談に来ることができる体制があります。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	2 人 (5.6%)	33 人 (91.7%)	1 人 (2.8%)

<p>(主な就職、業界等) 国際物流、フォワーダー、空港グランドハンドリングスタッフ、航空貨物取扱会社、空港サービス、ホテル、営業職等</p> <p>株式会社 ANA Cargo、株式会社 JAL カーゴサービス、DHL グローバルフォールディング株式会社、株式会社 アルプス物流、大東港運株式会社、羽田旅客サービス株式会社、SBS グローバルネットワーク株式会社、株式会社 日本トラフィックサービス、ANA 成田エアポートサービス株式会社、株式会社 富島、トナミ国際物流株式会社、ノットグローバルホールディングス株式会社、JICA 海外青年協力隊、株式会社 アンカレッジ、コーンズテクノロジー株式会社、新世紀海運株式会社、政策研究大学院大学 国際渉外室、廣川ホールディングス株式会社</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>企業の方をお招きしての講話、学校内会社説明会、先輩による就職体験発表、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指導を行っている。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>IATA ディプロマ基礎 28名 (90%以上の Distinction での合格者 13名)</p> <p>貿易実務検定 C級 27名</p> <p>IATA ディプロマ危険物 14名 (90%以上の Distinction での合格者 10名)</p> <p>通関士 4名</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	3人	4.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的問題、病気、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生とこまめに面談をし、学生の心のケアを行っています。また、経済的な理由により、アルバイト過多になり出席状況が悪くなり、学費の支払いが出来ずに退学をする学生がおり、このような学生に対しては、学費の分納処置を取るなどして、対応をしています。また、在学中に就職のため通学が困難になる時期が生じた場合、本人に卒業の意思があれば、特別な処置をとり、卒業に結びつくよう配慮をしています。</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 英語コミュニケーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位 (1860 時間) 単位時間/単位	30 単位	76-89 単位	14-43 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		44 人	3 人	13 人	26 人	39 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) “グローバルな現代社会において、日本国内で完結する仕事が減少し、海外と係らなければ業務が進まないという状況になってきています。このような状況下で企業より求められている、国際ビジネス業界で働くための、下記の知識・技能を習得させることを目的とし、授業の内容により講義、演習、実習の形式を取っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(異文化研究、世界に通用するホスピタリティ、観光地理、料飲サービス、翻訳通訳実務) 3. パソコン知識・技能” <p>前期、後期制を取っており、年間で目標とする知識・技能をバランスよく学べるよう2年間の授業計画を立てています。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布しています。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となっています。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行います。学生が自由に相談に来ることができる体制があります。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31 人 (100%)	2 人 (6.5%)	24 人 (77.4%)	5 人 (16.1%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ホテル、旅行、食品、通信、運送、大学編入、他 米海軍横須賀基地、総合キャリアオプション、アパホテル、サントク旅行センター株式会社、株式会社日産、西武・プリンスホテルズワールドワイド、羽田エクセルホテル東急、エヌビーエス株式会社、株式会社テラ、佐川急便、神奈川大学外国語学部、他</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>企業をお呼びしての就職ガイダンスの実施、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指導を行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC IP、Microsoft Office Specialist、サービス接遇検定、日商簿記検定、世界遺産検定、他</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	3人	6.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、留学、学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生とこまめに面談をし、学生の心のケアを行っています。また、経済的な理由により、アルバイト過多になり出席状況が悪くなり、学費の支払いが出来ずに退学をする学生がおり、このような学生に対しては、学費の分納処置を取るなどして、対応をしています。また、在学中に就職のため通学が困難になる時期が生じた場合、本人に卒業の意思があれば、特別な処置をとり、卒業に結びつくよう配慮をしています。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	グローバル ICT 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位(1860 時間) 単位時間/単位	49 単位	105 単位	131 単位	0 単位	0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
114人		66人	16人	13人	26人	39人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) インターネットビジネスにおいて、日本国内及び日本人だけをターゲットとしたビジネスモデルの限界が見える中、国境を越えて活躍できるグローバルビジネスパーソンの育成が企業から求められています。本学科は、グローバルなコミュニケーションを支える情報・技術を身につけた「グローバル ICT 人材」となることを目的に、下記の知識・技能を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバルコミュニケーション (デジタルコミュニケーションも含む) 力の向上 2. マルチリンガルなウェブ制作スキルの習得 3. プログラミングスキル及び IT 翻訳 (ウェブ翻訳) スキルの習得 4. ネットワーク及びセキュリティ知識の習得
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布する。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要) 学科長及びクラス担任が対面のみならずオンラインでも随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行う。学生が自由に相談に出来る体制がある。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	6人 (12.5%)	36人 (75.0%)	6人 (12.5%)
(主な就職、業界等)			
IT 業界、ウェブ業界、デザイン業界、医療事務業界、観光業界、ホテル業界、帰国他			

((就職指導内容)		
厚生労働省指定キャリアコンサルタント試験合格の学科長が短期的な就職支援はもちろん、長期視野にたったキャリア形成支援を実施		
(主な学修成果 (資格・検定等))		
資格・検定名	受験者数	合格者数
基本情報技術者試験	3人	2人
基本情報技術者試験 (午前免除)	9人	2人
IT パスポート試験	38人	14人
色彩検定 UC 級	13人	7人
色彩検定 3 級	2人	2人
色彩検定 2 級	5人	4人
内閣府認定マーケティング 検定 3 級	18人	10人
ビジネス統計	24人	13人
MOS Excel	46人	41人
TOEIC	61人	—
英語実務検定 2 級	3人	2人
簿記初級	39人	22人
IC3 GS5 コンピューティング ファンダメンタルズ	48人	26人
(備考) (任意記載事項)		
国家資格キャリアコンサルタントの資格を所有する者が、カリキュラム設定などを行っています。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	5人	5.6%
(中途退学の主な理由)		
就職 3 名、健康的な問題 2 名		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
単位制を活用した卒業までの年限変更や学費の分納、夜間部への転科など本人の学習継続意欲がある限り、様々な方法を提示しています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ホテルブライダル 観光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位(1860 時間) 単位時間/単位	33 単位	65 単位	66 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		32 人	16 人	14 人	28 人	42 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) インターネットの普及により、世界中でビジネスがリアルタイムで行われている現代において、コアスキルとして英語とパソコンを身に付けた人材の育成が急務とされています。そのコアスキルをベースに、ホテル・ブライダル・観光といった専門性を加え、更におもてなしの心を兼ね備えたサービスのプロフェッショナルとして活躍するために、以下の知識・技能を習得させることを目的とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(ホテル・ブライダル・観光の知識および実務、世界中で通用するおもてなし・ホスピタリティ) 3. パソコン知識・技能
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布する。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行います。学生が自由に相談に来ることができる体制がある。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (93.3%)	1 人 (6.7%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ホテルスタッフ、バンケットスタッフ、ウェディングプランナー、ツアーコンダクター、ツアープランナー等</p> <p>(株)ホテルオークラ東京、横浜ベイシュラトン ホテル&タワーズ、(株)河口湖第一ホテル THE KUKUNA、藤田観光(株) 横浜ワシントンホテル、アパホテル 等</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>企業の人事担当者の方により企業説明会や就職ガイダンスの実施、先輩による就職体験発表、履歴書等の添削、模擬面接の実施など、個人のニーズを丁寧にヒアリングしたうえで、適性に合わせた細やかな進路指導を実施している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>国内旅程管理主任者 8名合格、ユニバーサルマナー検定 3級 11名合格、サービス接遇検定 2級 4名、3級 6名合格、世界遺産検定 3級 2名合格、他</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学科長と主任講師及び教職員で、定期的な会議で学生の日常の様子を把握することを心掛けています。</p> <p>また、適宜学生との面談の機会を設定することで話しやすい環境づくりを心がけています。学費が理由で退学に繋がらないように分納処置はもちろん、登録単位数などを調整するなど単位制という制度を活用した形での中退防止にも取り組んでいます。留学生の場合、日本語教師によるカウンセリングを行い、悩みや問題点を話しやすい環境作りをしています。</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 (夜)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1860 単位時間／62 単位	3060 単位 時間/単 位	5310 単位 時間/単 位	1740 単位 時間/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		1人	0人	14人	28人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）英語、ICT、キャリア開発、貿易・航空、および社会基礎分野について、半期科目を履修。
成績評価の基準・方法
（概要）学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、作品提出、実技等。
卒業・進級の認定基準
（概要）講師から前学期、後学期の評価を貰い、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要）必要に応じて生徒、場合によっては保護者との面談を行い、学費や履修科目、卒業時期等について支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)		0人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生や、場合によってはその家族と連絡を取り合い、適宜サポートを行っています。学生ごとにサポートすべき様々な事情を抱えています。例えば経済的困窮を理由として退学を希望する学生については、全単位取得後の学費納入を認めるなどの対応を取っています。</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	英語ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1860 単位時間／62 単位	3060 単位 時間/単 位	5310 単位 時間/単 位	1740 単位 時間/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	6人	0人	14人	28人	42人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）英語、ICT、キャリア開発、貿易・航空、および社会基礎分野について、半期科目を履修。
成績評価の基準・方法
（概要）学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、作品提出、実技等。
卒業・進級の認定基準
（概要）講師から前学期、後学期の評価を貰い、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要）必要に応じて生徒、場合によっては保護者との面談を行い、学費や履修科目、卒業時期等について支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）サービス			
（就職指導内容）入社試験指導			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、Microsoft Office Specialist			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生や、場合によってはその家族と連絡を取り合い、適宜サポートを行っています。学生ごとにサポートすべき様々な事情を抱えていますが、例えば経済的困窮を理由として退学を希望する学生については、全単位取得後の学費納入を認めるなどの対応を取っています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	国際 ICT・観光学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124 単位 (3920 時間) 単位時間/単位	単位時間 160/単位	単位時間 165/単位	単位時間 188/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		14 人	12 人	14 人	28 人	42 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 1年次は Microsoft Office 関連のビジネスソフトの基礎を学び、地理や観光ビジネスに関する基礎知識を身につけること、多言語で自由にコミュニケーションができることなどを目標としています。</p> <p>2年次、3年次はグローバル ICT 学科及びホテル観光ブライダル学科の専門科目を自由に選択することにより、学生個々人の志望に合わせた専門知識の習得を目標としています。3年次後半から4年次にかけては、就職へ向けてキャリア教育とインターンシップの実施を柱に、実践力を身に付けます。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布する。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、124 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行う。学生が自由に相談に来られる体制がある。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0 %)	10 人 (76.9%)	3 人 (23.1%)
(主な就職、業界等) ホテルスタッフ、IT 企業			
(就職指導内容) 企業をお呼びしての就職ガイダンスの実施、先輩による就職体験発表、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指			

導を行っています。
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本語能力試験 N2, ユニバーサルマナー検定 3級, Microsoft Office Word/Excel/Power Point
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による在留資格変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談を行い、学生の意思を確認。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ビジネス日本語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間/単位	62 単位時 間/単位	139 単位 時間/単 位	28 単位時 間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		25人	24人	8人	30人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）1年次では、まず、日本語・ビジネス日本語力の定着を図っていきます。そして、様々な学校内での場面においてもその力を運用し活かしていくことができるよう、各科目の先生方と連携を図り、コミュニケーション力を高めていきます。また、専門科目においては、経済社会の基礎の定着を図った上で、単なる知識としての科目とならぬよう、現代を取り巻くニュース・新聞記事を取り上げ、「経済社会」の一員としての視野を広げていきます。2年次では、1年次に積み上げた日本語・ビジネス日本語力をもとに、マーケティングやIT関連などの専門科目を幅広く学び、専門性を身につけていきます。また、学年末には企業の方々をお招きしての卒業制作発表を行うため、1年をかけてグループごとに話し合いを重ね、取り組んでいきます。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）評価方法は、学期ごとの定期試験、小テスト、課題提出、発表等のいずれか、もしくは組み合わせで、科目ごとに評価をします。各教員から学期ごとの評価をいただき、総合的評価の確認を成績判定会議で行います。成績評価の基準に満たない学生については、基準に達するまで、再試験を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）卒業については、教員から前学期、後学期の評価をいただき、出席率と合わせて卒業判定会議を行い、成績・出席率等の要件を満たした学生には卒業証書を授与します。進級については、教員から前学期、後学期の評価をいただき、出席率と合わせて進級判定会議を行います。成績・出席率等の要件を満たした学生は進級できます。</p>
学修支援等
<p>（概要）クラス担任制です。2回連続して授業を欠席した学生については、教師より担任に報告がいきます。報告を受けた担任が、学生と面談をし、問題を解決するよう努力しています。補講・再試を行う等、すべての学生が授業についていける配慮をしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)	0人 (0%)

<p>(主な就職、業界等) 幅広い分野に就職します。 宿泊・接客、IT、貿易、観光、マーケティング・会計</p>
<p>(就職指導内容) 就職活動指導に関しては、より実践的な授業を取り入れ「履歴書・面接等」の指導に留まらず、ビジネスマナーの本質が「相手への感謝・思いやり・信頼」であることを理解させ、一つひとつの行動に意味があることを、きめ細かく指導します。また学生一人一人の状況を教職員で共有することにより、適宜対応できるように体制を整え、企業と学生のマッチングにより効率化を図ります。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験 N1・N2 秘書検定2・3級、ビジネス文書検定3級、日商簿記検定3級 秘書検定3級、BJT ビジネス日本語能力テスト (J1+, J1、J2)</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	12 人	27.9%
(中途退学の主な理由) 就職、進学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談を行い、学生の意思を確認。		